

カヤツリグサ科 テンツキ属

メアゼテンツキ (雌畦点突)

Fimbristylis velata R.Br.

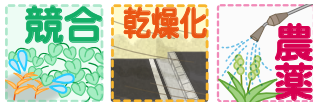
自生環境

湿地、あぜ など

原産地

日本在来

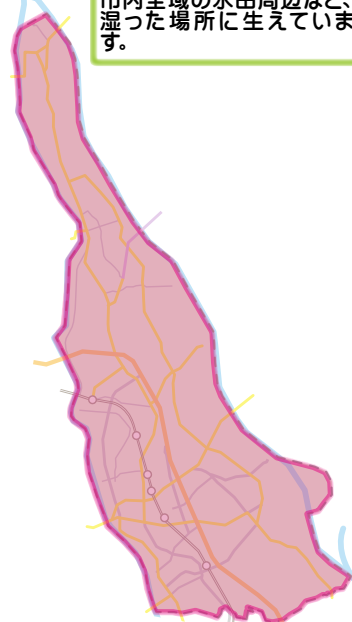
生育を脅かす要因



水田周辺に生える小さな草であるため、農薬の影響を受けやすい傾向にあります。また他の草との競争や、土の乾燥にも弱く、ふとしたきっかけで姿を消してしまう繊細な草です。

市内の分布状況

市内全域の水田周辺など、湿った場所に生えています。

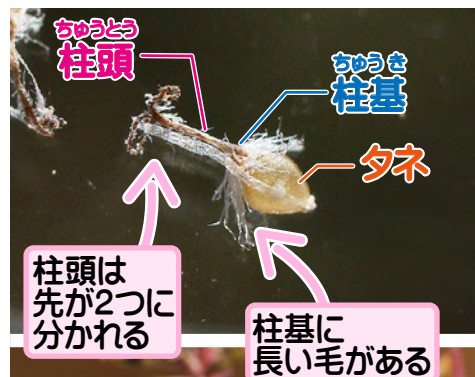


特徴

- ☆ 日当たりの良い湿った場所に生え、水田周辺に多く見られます。ヨシやガマなどの背の高い草が茂っている場所よりも、草の量が少なく、土がある程度見えているような場所を好みます。
- ☆ 小形の1年草で、株元から多数の莖や葉を出して草丈は10～20cm ほどになります。7～11月、莖の先から数本の細い花序枝をのぼし、しばしば枝分かれしながらその先に長さ4～7 mm ほどの細長い小穂を1個ずつつけます。
- ☆ 小穂の鱗片には短い芒があります。よく似た仲間のアゼテンツキはこの芒が長くて反り返り、毛羽立って見えます。柱頭は先が2つに分かれます。柱基（柱頭のつけ根でタネへとつながる部分）には長い毛があります。タネの表面に模様はありません。

確実な同定はタネを見る

テンツキの仲間は日本に約 30 種あるとされますが、どれも外見はとてもよく似ていて、その見分けは簡単ではありません。ぱっと見で明らかに区別できるものはともかく、そうでないものは、成熟した穂をばらして中からタネを取り出し、それをルーペで確認する必要があります。タネの形や表面模様、柱頭がいくつに分かれているか、また、毛の生えかたなどが観察ポイントになります。



わぴちゃんねる 千葉県野田市の植物を動画で紹介!

<https://www.youtube.com/channel/UCJvrXBjegnWATWd-UZsNzCA>

